

## CALFRESH(食費助成)プログラム制限口座同意書パートA

ケースの名称	ケースの番号
郡役所ワーカー名	ワーカー番号

下記の規定をよく読み、確認しましたら氏名イニシャルを記入してください。

氏名イニシャル	私は下記事項を承知します。
	制限口座の金額は、銀行、信用組合、相互銀行などの金融機関に預け、他の銀行口座とは別に保管します。
	制限口座情報に関して証明できる資料を提出します。制限口座情報の一例は下記のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 銀行/信用組合発行の明細書または領収書で銀行の名称、所在地が記載されているもの。</li> <li>● 制限口座同意書署名の日からのすべての口座の残高および取引履歴。</li> <li>● 制限口座保有者名</li> </ul>
	制限口座から引出した金額の用途を証明する資料としては下記のようなものがあることを承知します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 取消済みの小切手</li> <li>● 商品/サービス提供者発行の署名済書類で支払額、支払方法が記載されているもの。</li> <li>● 領収書</li> </ul>
	制限口座同意書は下記の場合、効力が停止します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ワーカーに制限口座証明に関する資料を提出しないとき。</li> <li>● 家族のCalFresh(食費助成)が中止になったとき。</li> <li>● 制限口座が停止されたとき。</li> <li>● 制限口座関連法が改正されたとき。</li> </ul>
	制限口座における預入れの金額に制限はありません。1以上の制限口座を保有することができ、すべての制限口座の金額は家族の保有資産限度の範囲に含まれて計算されません。
	CalFresh(食費助成)の支給が何らかの原因で停止して、その後CalFresh(食費助成)を再申請すると支給期間に空白が生じますが、制限口座の金額を含め全資産は2,000ドル/3,250ドルの限度額を超えることはできません。制限口座を新たに開始するときは申請時に新規の制限口座同意書に署名します。支給期間に空白が生じている場合、制限口座同意書が必要になります。
	制限口座から引出した金額を許可されない出費に使った場合、たとえそれが重要で緊急な用件であったとしても、引出した金額は保有資産限度額に含まれるものとし、郡役所は全保有資産について再評価を行います。
	制限口座を開始する前に、緊急用、その他の出費に関する保有資産は限度額の2,000ドル(または世帯に障害者/60歳以上の家族がいる場合は3,250ドル)に近い金額でなければなりません。
	所得/家族の変更について毎半年報告を行う場合で、当該半年の間に制限口座の金額を引出した場合、当該引出しについては次回の所得報告(SAR 7)時に報告する必要があります。毎半年報告対象の世帯ではない場合、引出日から10日以内に報告します。
	制限口座に発生する利子は当該口座に直接的に預入れしなければなりません。当該利子が自分宛に送金された場合、それは制限口座に入金します。
	制限口座にある金額は下記項目に直接的に関連する1つ以上の許可された出費のみに使用します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分自身が居住する住宅の購入</li> <li>● 新規事業の開始</li> <li>● 口座保有者およびその扶養家族の教育または職業訓練</li> </ul>

### 証明

私はこの説明書をよく読みました。私は制限口座を開始、維持するに当たり上記、私の氏名イニシャルで確認した規定および義務を理解し承知しました。また、**制限口座**を開始する前に緊急用、その他の出費に関する保有資産は限度額の2,000ドル(または世帯に障害者/60歳以上の家族がいる場合は3,250ドル)に近い金額でなければならないことも了解しました。私は許可される出費、証明用資料、証明用資料の郡役所への提出期日等、不明な点があれば担当のワーカーに相談します。

世帯主または正式代理人の署名もしくはマーク	日付
証人および/または通訳者の署名	日付